

幼児教育研修（副園長・主任）

受講者数77名

日時 令和4年9月20日（火） 15:00～17:00

場所 ギャラクシティ 西新井文化ホール

講師 山梨大学 名誉教授 加藤 繁美 氏

【内 容】～子どもの心と対話する保育とは～

対話とは、相手を理解したいと思って関わることです。先入観や自分の価値観で答えを決めず、子どもの言葉や思いに共感から入る対話能力が保育の質を高めます。子どもの発達を理解し、子どもの声や思いに耳を傾け、子どもの心と対話する保育について学びを深めます。また、園のリーダーとしての役割を学び、園長を補佐する立場から園全体の質向上につなげていきます。

**【受講者の感想】***** 研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか**

- ・“みんな違っていい”と自分とは違う考え方を尊重することの大切さがわかっているけど、保育者に付き合わせたり、皆一緒に動くと安心したりする自分がいた。自分と違う考えを「面白い」「心地良い」と受け入れ、子どもの声により丁寧に耳を傾けていこうと思った。
- ・同じ子ども、同じ保育者でも、同じ一日はつくれない。そんな保育の奇跡の瞬間を捉えられる直感力を、職員間で大切に育んでいける環境を整えていきたい。
- ・エピソードを持ち寄って話し合う機会をもち、理論とつなげて考えられるようにしていきたい。自分の言動に説得力をもてるように学び続けたい。
- ・「できることから考える」という意識を高めていく。
- ・子どもたちの声をよく聴き「こうすればできる」の正答表示ではなく、「どうすればできる」の願望実現のための関わりを心掛ける。
- ・子どもとの関わりの中で言葉でのコミュニケーションだけではなく、表情や行動の意味を理解し、受け止めることができる保育を行っていきたい。
- ・対話を意識して保育していく。ただ子どもの声を聴くのではなく、「子どもの思い」を聴き取っていきけるようにしていきたい。